

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
栄養総合演習 I Synthetic Seminar I of Nutrition and Dieticians		1年	前期・後期	水曜日 5時限 (隔週)
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習	選択 (栄養士養成課程選択)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
栄養学 食品学 栄養指導論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
穂積元・小柳津周・高木道代・藤田睦・森田悠子		福祉棟2階、3階研究室	火・水曜日の講義時間外 (担当教員の出勤日)	授業中に指示します
授業の概要				
栄養士の資格取得を目指す学生として、一般基礎学力・一般常識及び専門領域(食品、栄養、健康、調理)に関する基礎・実践的知識を演習の形態で幅広く学ぶことが出来るように授業内容を多様な項目で構成した。さらに栄養士としての職種を選択や就職活動につながる授業内容も設け、キャリア教育 I から IV と連携して資格取得意識や目的意識の向上を図る。				
授業の到達目標				
①学生として幅広い基礎知識や一般常識及び学ぶ方法を修得できるようにする。 ②栄養士の資格取得を目指す学生として、栄養士の基本業務、意識を理解し、コミュニケーション対応力を修得できるようにする。				
授業の方法				
専任教員によるオムニバス。講義、グループ活動、その他				
学習の成果				
①学生として幅広い基礎知識や一般常識及び学ぶ方法を理解することができる。 ②栄養士の資格取得を目指す学生として、栄養士の基本業務、役割を認識し、コミュニケーションの重要性を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス (単位評価法、学習方法、その他) 担当 : 小柳津周			
第2回目	健康と食品及び栄養の関係について 担当 : 小柳津周			
第3回目	自己分析と目標設定の重要性について (レポート課題: 提出日は第4回講義時) 担当: 穂積元			
第4回目	基礎学力到達度確認テスト1と学習方法について 担当: 穂積元			
第5回目	栄養価計算の練習 (1) 担当: 高木道代			
第6回目	栄養価計算の練習 (2) 担当: 高木道代			

第7回目	栄養士の仕事研究 (1) 病院、福祉施設等で働く栄養士の仕事の実際 担当 : 森田悠子		
第8回目	栄養士の仕事研究 (2) 学校、保育所、事業所等で働く栄養士の仕事の実際 担当 : 森田悠子		
第9回目	みかも祭の実施計画、媒体作成 (1) 担当 : 高木道代・小柳津周・藤田睦		
第10回目	みかも祭の実施計画、媒体作成 (2) 担当 : 高木道代・小柳津周・藤田睦		
第11回目	食育活動の現場から - 保育所における取り組み事例から考える - 担当 : 森田悠子		
第12回目	今なぜ、食育なの? 食育って何? 担当: 高木道代		
第13回目	食品を構成する成分の消化・吸収機構の役割 担当 : 小柳津周		
第14回目	基礎学力到達度確認テスト2と学習方法について 担当: 穂積元		
第15回目	進路について考える 就職先の検討、分析 担当 : 穂積元・森田悠子		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	①講義の目的、内容を理解して参加する (S=90) ②予習・復習を行い参加する (A=80) ③意欲なく参加する場合は評価が低い
レポート		60%	①課題の目的、内容を理解し、原理や参考文献を用いてまとめる (S=90) ②課題の目的、内容を理解し、疑問や質問など自身の考えをまとめる (A=80) ③意欲のない場合は評価が低い
調査報告書			
小テスト		10%	①基本的な内容が理解されている場合、B=70-79・C=60-69。②高度な内容が理解されている場合、S=90-100・A=80-89。③基本的な内容が理解できない場合、Dとなる。
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他		10%	①共同で実施する課題に対し、献身的に参加する (S=90) ②共同で実施する課題に対し、消極的な参加の場合には評価が低い
教科書と参考図書			
各講義担当者が作成した資料を配布して講義を行う。			
履修上の心得・ルール			
指導教員の指示・指導を厳守。講義の順番については変更の場合もある。提出レポート(資料等)については期限を厳守する。			